

第3章 布袋駅東地区の現況

3-1 布袋のまちづくりの経過

(1) 明治期・大正期・昭和初期

市域には農村が形成されていましたが、その中で中心となる道路や街道に沿って民家が連なり、まちや集落として発達していきました。布袋もその1つです。

明治 17 年の丹羽・葉栗郡役所の開設のほか、警察署、郵便局、一宮区裁判所布袋出張所等が置かれたことから、郡行政の中心地となり、繁栄しました。

また、大正元年には、名鉄犬山線が開通し、西側に駅改札口が設置されました。昭和に入っても、料理屋や旅館などが建ち並び、発展を続けました。



図 布袋駅



図 本町通り



図 布袋町（市街の一部）

資料：町史布袋町大観、江南市史

(2) 昭和 30 年頃

昭和 29 年 6 月に、「古知野町」、「布袋町」、「宮田町」、「草井村」が合併し、「江南市」が誕生しました。

(3) 昭和 45 年頃

現都市計画法の施行（昭和 44 年）により、市域は市街化区域・市街化調整区域に区分されるようになり、布袋地区においては、名鉄犬山線以西が市街化区域、東は市街化調整区域となりました。当時の航空写真を見ると、駅西は街道沿いにまちが形成されており、駅東は鉄道に隣接した工場や尾北高等学校、田畑の中に住宅が点在しています。

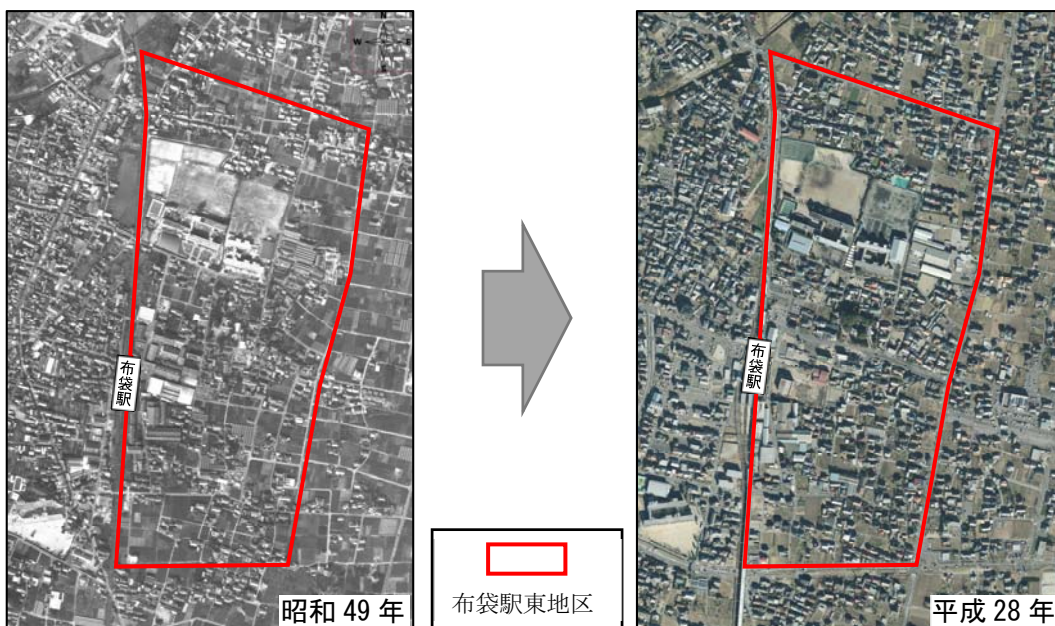


図 布袋のまちの変遷

資料：江南市資料

(4) 平成元年頃

名鉄犬山線を挟んだ東西で土地区画整理事業の検討が行われ、西側の市街化区域については江南布袋南部土地区画整理事業（平成 8 年 3 月：事業計画決定）へと進みましたが、東側については事業化には至らず、市街化調整区域のままとなりました。

一方、名鉄犬山線の鉄道高架事業の検討が始まり、平成 16 年度には関連する国道 155 号バイパスの都市計画の変更（道路高架から鉄道高架に変更）なども行われました。

(5) 平成 20 年頃

布袋駅東側に隣接する工場の一部は操業を停止していたため、市街地再開発事業も検討されましたが、事業化には至りませんでした。一方、平成 21 年度には、名鉄犬山線の鉄道高架事業の工事が始まりました。



図 布袋駅東側の隣接地の状況（平成 23 年度撮影）

(6) 平成 29 年（現在）

布袋駅東側の廃工場の建屋がなくなり更地となりました。ここには江南市が「複合公共施設」の整備を計画しています（布袋駅東複合公共施設基本計画：平成 29 年 3 月策定）。また、名鉄犬山線の鉄道高架事業が進捗し、平成 29 年 6 月には名古屋方面の本線が高架に切り替わりました。さらに、布袋駅西側の江南布袋南部土地区画整理事業も進み、道路や街区が形成され、新しい住宅等の建設が進んでいます。

今後は鉄道高架事業の完了により、東西のまちの一体感が生み出されるため、布袋駅東地区における新たなまちづくりが期待されます。



図 複合公共施設の整備予定地



図 名鉄犬山線（上り線）の高架化



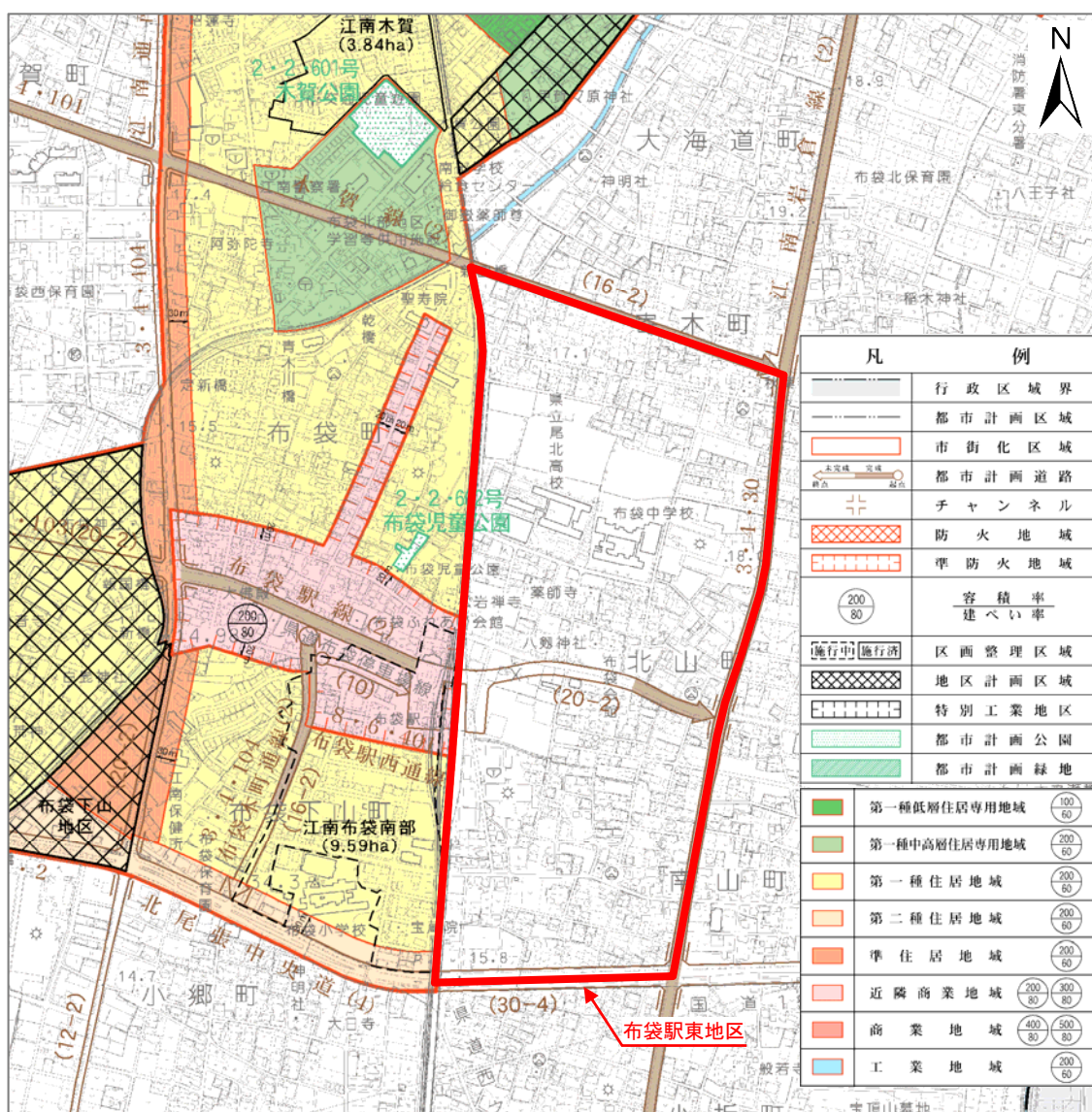
図 区画整理地内の状況

3-2 法規制等の状況

(1) 都市計画の区域指定

本基本構想の対象となる布袋駅東地区は市街化調整区域ですが、名鉄犬山線を挟んだ布袋駅の西側は市街化区域に指定されています。布袋駅の西側では、(都)布袋駅線沿道および中央部から北へ向かう道路沿道の一部が近隣商業地域に指定されており、その周辺は住居系の用途地域に指定されています。

布袋駅東地区は、北に(都)木賀線、東に(都)江南岩倉線、南に(都)北尾張中央道(国道155号)があり、三方を都市計画道路に囲まれているほか、地区中央部には布袋駅東駅前広場を含めた(都)布袋駅線が計画されています。なお、(都)北尾張中央道については、道路用地は確保されており、暫定的に供用されています。

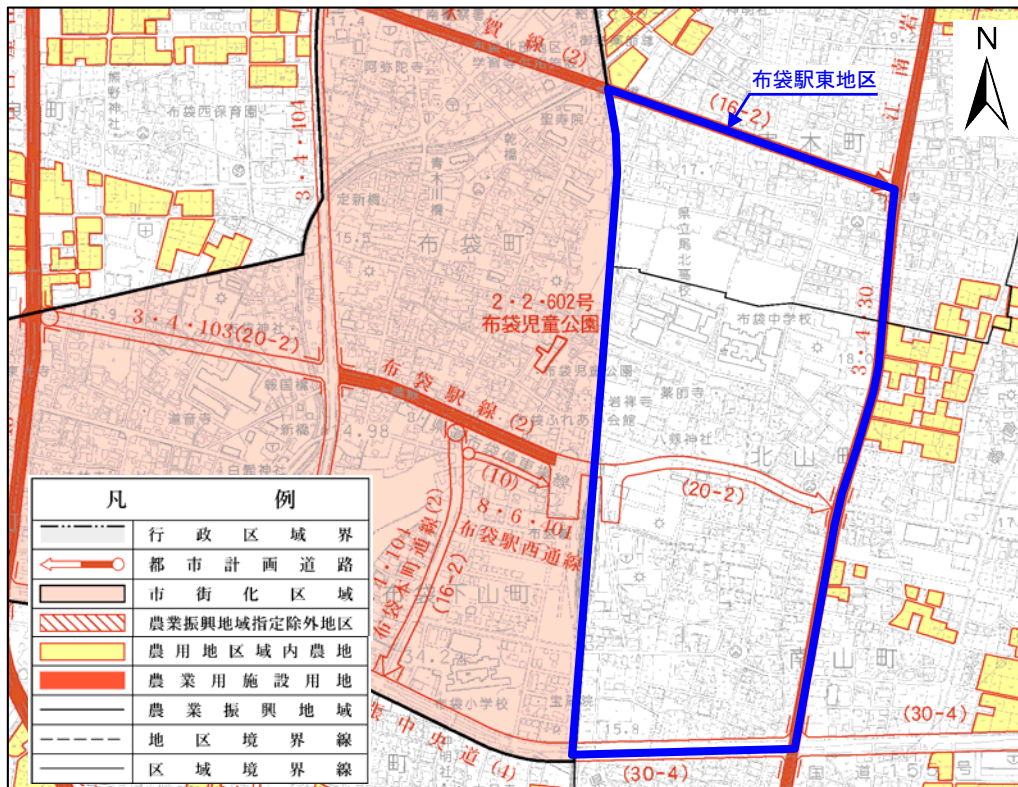


資料：江南市都市計画図（平成29年）

図 都市計画の状況

(2) 農業振興地域の指定

布袋駅東地区は農業振興地域ですが、農用区域や農業用施設用地などには指定されていません。



資料：江南市農業振興地域土地利用計画図（平成28年）

図 農業振興地域の指定状況

(3) 江南市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例

布袋駅東地区の区域は、都市計画法第34条第11号に基づく区域に指定されているため、以下のような住宅等の建築が可能となっています。

■都市計画法第34条第11号で建築できる建物の主な条件

- ・用途：住宅系（専用住宅、兼用住宅、共同住宅）
- ・敷地面積：原則 200 m²以上
- ・高さ：原則 10m以下
- ・雨水流出抑制対策が講じられていること

【参考資料：都市計画法第34条第11号について（江南市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の概要より）】

市街化区域に隣接、または近接し、自然的社会的諸条件から一体的な日常生活圏を構成していると認められる区域は、隣接または近接する市街化区域の公共施設の利用も可能であることから、開発行為が行われたとしても積極的な公共投資は必ずしも必要とされないとの考え方で設けられた制度です。この制度を活用することによって、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保などを図ります。

資料：江南市HP

3-3 人口の動向

(1) 人口の推移

1) 江南市

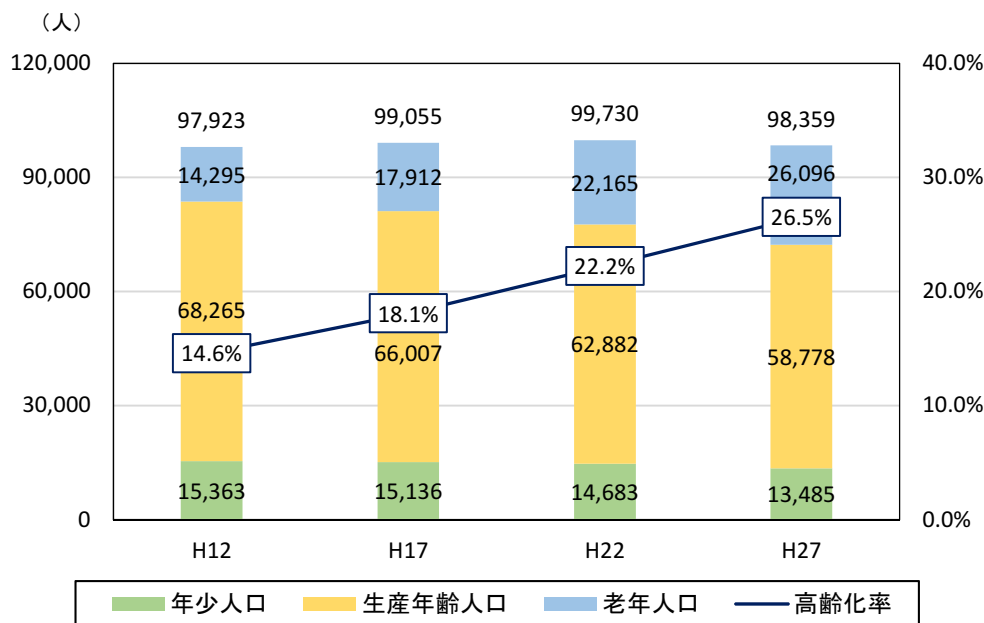
江南市の総人口は平成 22 年をピークに減少に転じています。

年齢 3 区分人口に着目すると、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向にあり、特に生産年齢人口は平成 12 年から平成 27 年で約 1 万人減少しています。一方で、老年人口は増加傾向にあり、平成 27 年では総人口の約 3 割が 65 歳以上となっています。

表 人口の推移（江南市）

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
総人口	97,923	99,055	99,730	98,359
年少人口	15,363	15,136	14,683	13,485
(割合)	15.7%	15.3%	14.7%	13.7%
生産年齢人口	68,265	66,007	62,882	58,778
(割合)	69.7%	66.6%	63.1%	59.8%
老年人口	14,295	17,912	22,165	26,096
(割合)	14.6%	18.1%	22.2%	26.5%

※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上



資料：国勢調査

図 人口の推移（江南市）

2) 布袋地区

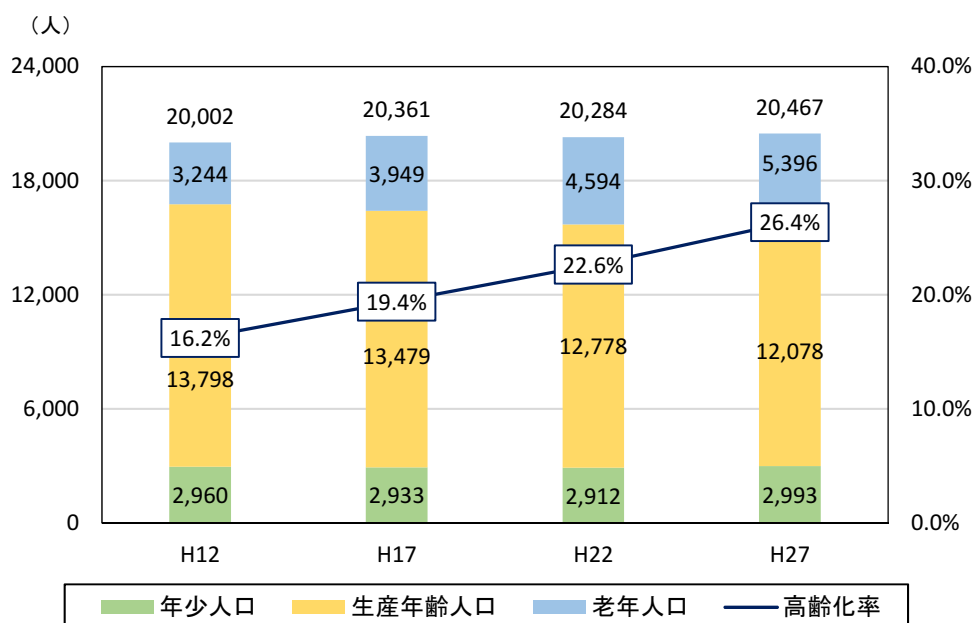
布袋地区の総人口は2万人程度で横ばいとなっています。

年齢3区分人口に着目すると、生産年齢人口は減少しており、平成12年から平成27年で約2千人減少しています。老年人口は増加傾向にあり、平成27年では総人口の約3割が65歳以上となっています。なお、年少人口は横ばいとなっています。

表 人口の推移（布袋地区）

区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	20,002	20,361	20,284	20,467
年少人口	2,960	2,933	2,912	2,993
(割合)	14.8%	14.4%	14.4%	14.6%
生産年齢人口	13,798	13,479	12,778	12,078
(割合)	69.0%	66.2%	63.0%	59.0%
老年人口	3,244	3,949	4,594	5,396
(割合)	16.2%	19.4%	22.6%	26.4%

※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上



資料：国勢調査

図 人口の推移（布袋地区）

3) 布袋駅東地区

布袋駅東地区の総人口は平成 17 年から平成 22 年にかけて 3 百人程度減少しましたが、平成 22 年以降は横ばいとなっています。また、住民基本台帳による人口は概ね横ばいとなっており、最近 1 年では約 50 人増加しています。

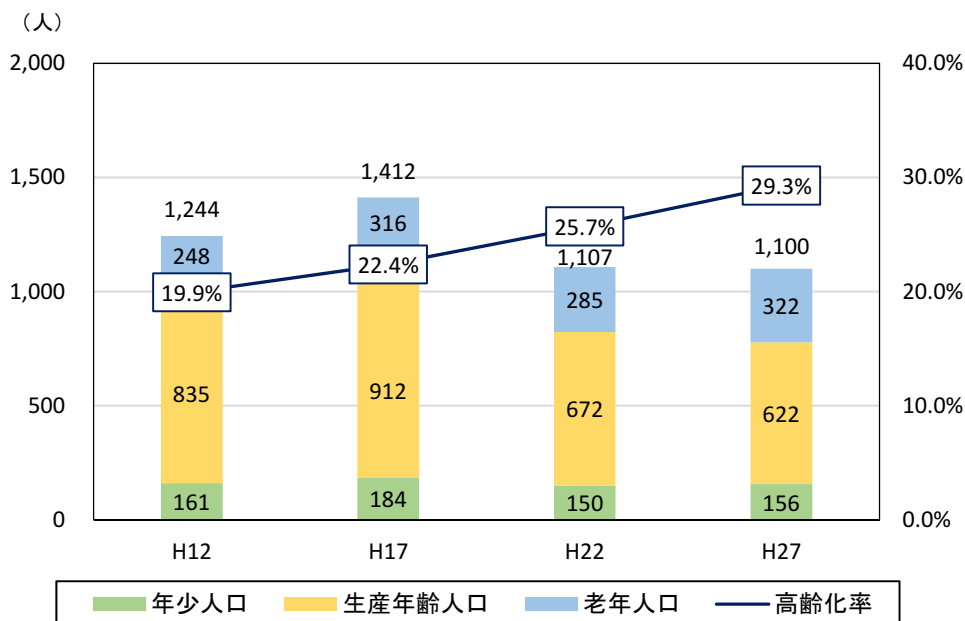
年齢 3 区分人口に着目すると、生産年齢人口は減少しており、平成 12 年から平成 27 年で約 2 百人減少しています。老年人口は増加傾向にあり、平成 27 年では総人口の約 3 割（29.3%）が 65 歳以上となっています。これは、江南市の平均（26.5%）より高い割合となっています。なお、年少人口は総人口と同様の傾向を示しており、平成 22 年以降は横ばいとなっています。

表 人口の推移（布袋駅東地区）

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
総人口	1,244	1,412	1,107	1,100
年少人口	161	184	150	156
(割合)	12.9%	13.0%	13.6%	14.2%
生産年齢人口	835	912	672	622
(割合)	67.1%	64.6%	60.7%	56.5%
老年人口	248	316	285	322
(割合)	19.9%	22.4%	25.7%	29.3%

※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上

※総人口は都市計画基礎調査によるものであり、年齢 3 区分の人口割合は国勢調査をもとに設定



資料：国勢調査、都市計画基礎調査（平成 13、18、23、28 年度）

図 人口の推移（布袋駅東地区）

表 人口の推移（住民基本台帳による）

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総人口	1,618	1,613	1,584	1,562	1,616

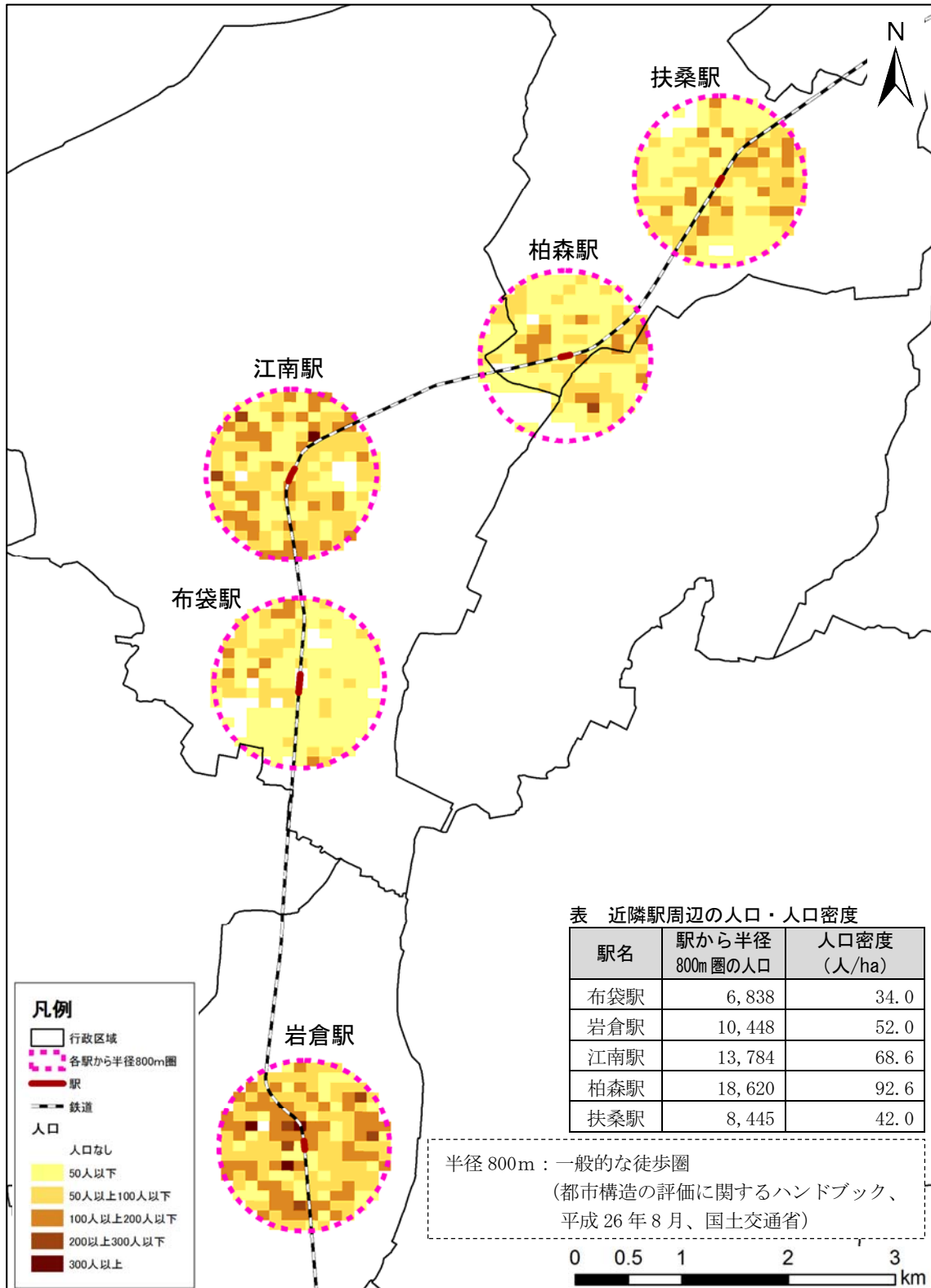
※布袋駅東地区が含まれる北山町西、小折町桜雲、南山町中、南山町西、寄木町秋葉の人口を集計しているため、布袋駅東地区の区域に一致しない。

※各年 4 月 1 日時点

資料：江南市資料

(2) 近隣駅周辺の人口

布袋駅周辺と近隣駅周辺で人口密度を比較すると、布袋駅周辺が最も低い状況となっています。また、布袋駅の東側では特に人口密度が低くなっています。



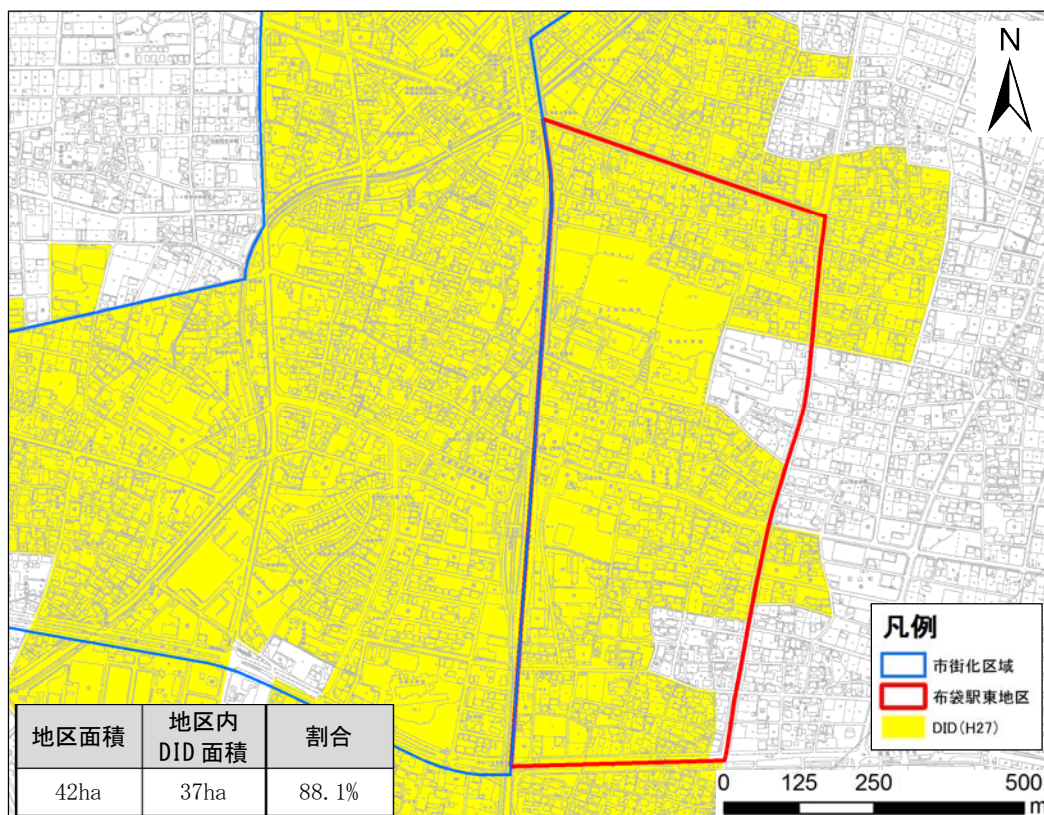
※布袋駅近隣の急行停車駅を対象としている

資料：国勢調査（平成22年）

図 近隣駅周辺の人口

(3) 人口集中地区 (DID)

市街化区域である布袋駅の西側はほぼ全域が人口集中地区となっています。また、布袋駅東地区内についても、市街化調整区域であるものの、約9割が人口集中地区となっています。



資料：国勢調査（平成27年）

図 人口集中地区 (DID) の状況

(4) 世帯数の推移

布袋駅東地区の世帯数は、平成23年から平成28年では大幅な増減はありません。また、住民基本台帳による最近5カ年の世帯数も概ね横ばいとなっていますが、直近の1年間では約40世帯（約50人）増加しています。一方、1世帯あたりの人員は減少傾向となっています。

表 世帯数の推移（布袋駅東地区：都市計画基礎調査による）

	平成23年	平成28年
世帯数	388	396
人口	1,107	1,100
1世帯あたり人員	2.9人/世帯	2.8人/世帯

資料：都市計画基礎調査（平成23年度、平成28年度）

表 世帯数の推移（住民基本台帳による）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
世帯数	578	581	583	570	611
総人口	1,618	1,613	1,584	1,562	1,616
1世帯あたり人員	2.8人/世帯	2.8人/世帯	2.7人/世帯	2.7人/世帯	2.6人/世帯

※布袋駅東地区が含まれる北山町西、小折町桜雲、南山町中、南山町西、寄木町秋葉の人口を集計しているため、布袋駅東地区の区域には一致しない

※各年4月1日時点

資料：江南市資料

3-4 土地利用・建物利用等

(1) 土地利用現況

1) 布袋駅周辺

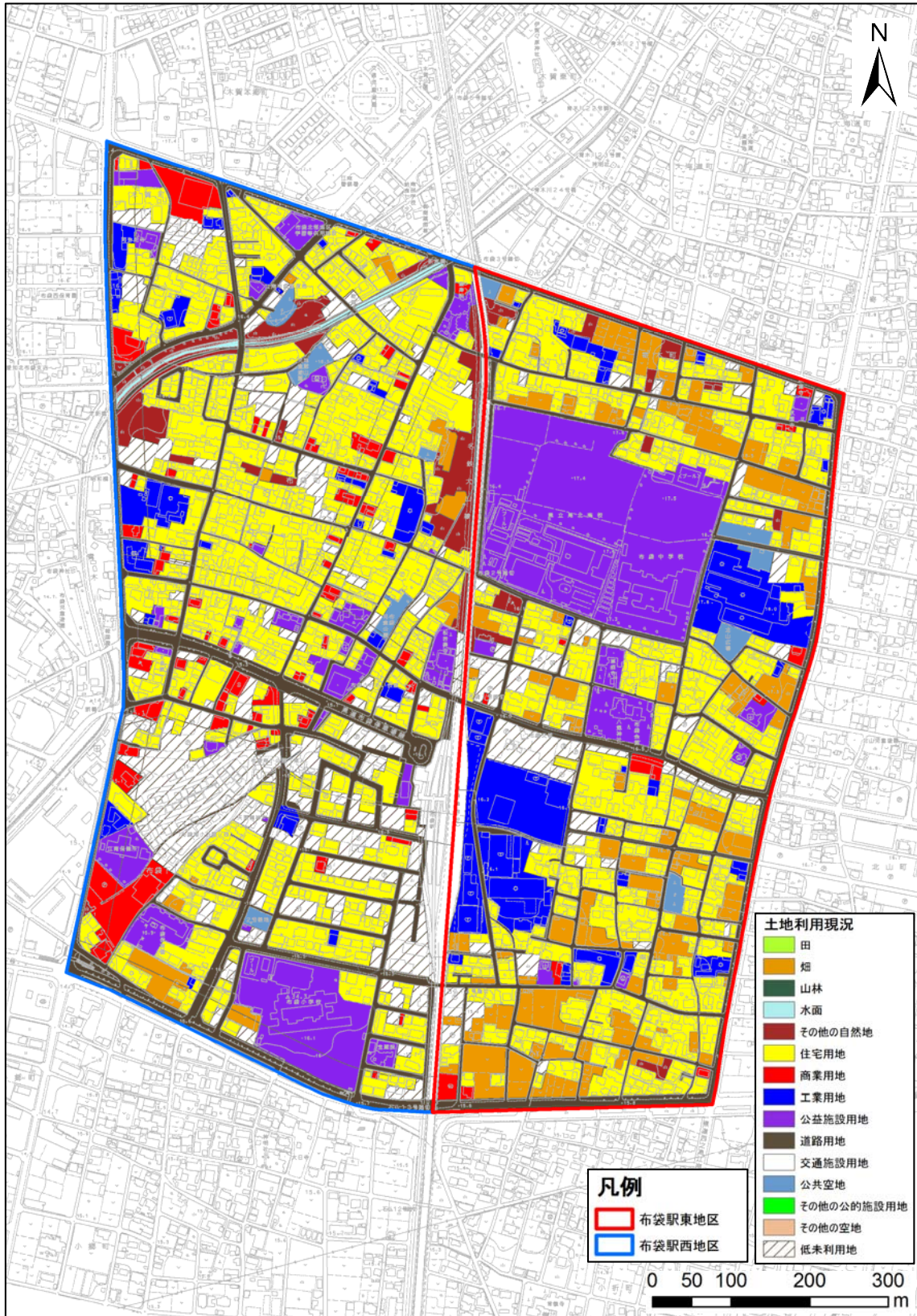
布袋駅東地区の土地利用の状況をみると、住宅用地が約 32%で最も多く、次いで公的・公益用地が約 18%、農地と道路用地が約 14%となっています。工業用地は、約 11%であり、地区内の 2 箇所にまとまって分布しています。

また、布袋駅東地区は布袋駅西地区と比較して、農地や公的・公益用地、工業用地が多く、住宅用地や道路用地が少ない状況となっています。

表 土地利用現況

種別		布袋駅西地区		布袋駅東地区	
		面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	割合 (%)
自然的 土地利用	農地	0.8	1.6%	5.7	13.7%
	山林	0.0	0.0%	0.0	0.0%
	水面	0.3	0.5%	0.0	0.0%
	その他自然地	2.0	3.9%	0.6	1.4%
都市的 土地利用	住宅用地	20.0	39.9%	13.1	31.8%
	商業用地	2.7	5.3%	0.4	1.0%
	工業用地	1.7	3.3%	4.5	10.9%
	公的・公益用地	4.5	9.0%	7.5	18.2%
	道路用地	8.9	17.7%	5.9	14.4%
	交通施設用地	1.5	3.0%	0.7	1.7%
	公共空地	0.5	0.9%	0.5	1.3%
	その他の公的施設用地	0.0	0.0%	0.0	0.0%
	その他の空地	0.0	0.0%	0.0	0.0%
	低未利用地	7.4	14.7%	2.4	5.7%
合計		50.3	—	41.3	—

資料：都市計画基礎調査（平成 25 年度）



資料：都市計画基礎調査（平成25年度）

図 布袋駅周辺の土地利用の状況

2) 近隣駅周辺の土地利用

布袋駅周辺では約7割が市街化調整区域である一方、近隣駅周辺では約7割以上が市街化区域となっています。特に江南駅周辺や岩倉駅周辺ではほぼ全域が市街化区域となっています。

土地利用の状況をみると、布袋駅周辺は農地の面積が最も多くなっており、建物用地の面積が最も少なくなっています。

表 近隣駅周辺の市街化区域の状況

駅名	市街化区域	市街化調整区域
布袋駅	68ha (34%)	133ha (66%)
岩倉駅	199ha (99%)	2ha (1%)
江南駅	200ha (99%)	1ha (1%)
柏森駅	152ha (75%)	49ha (25%)
扶桑駅	139ha (69%)	62ha (31%)

※ () は合計面積に対する割合

資料：都市計画基礎調査（平成28年度）

表 近隣駅周辺の土地利用現況

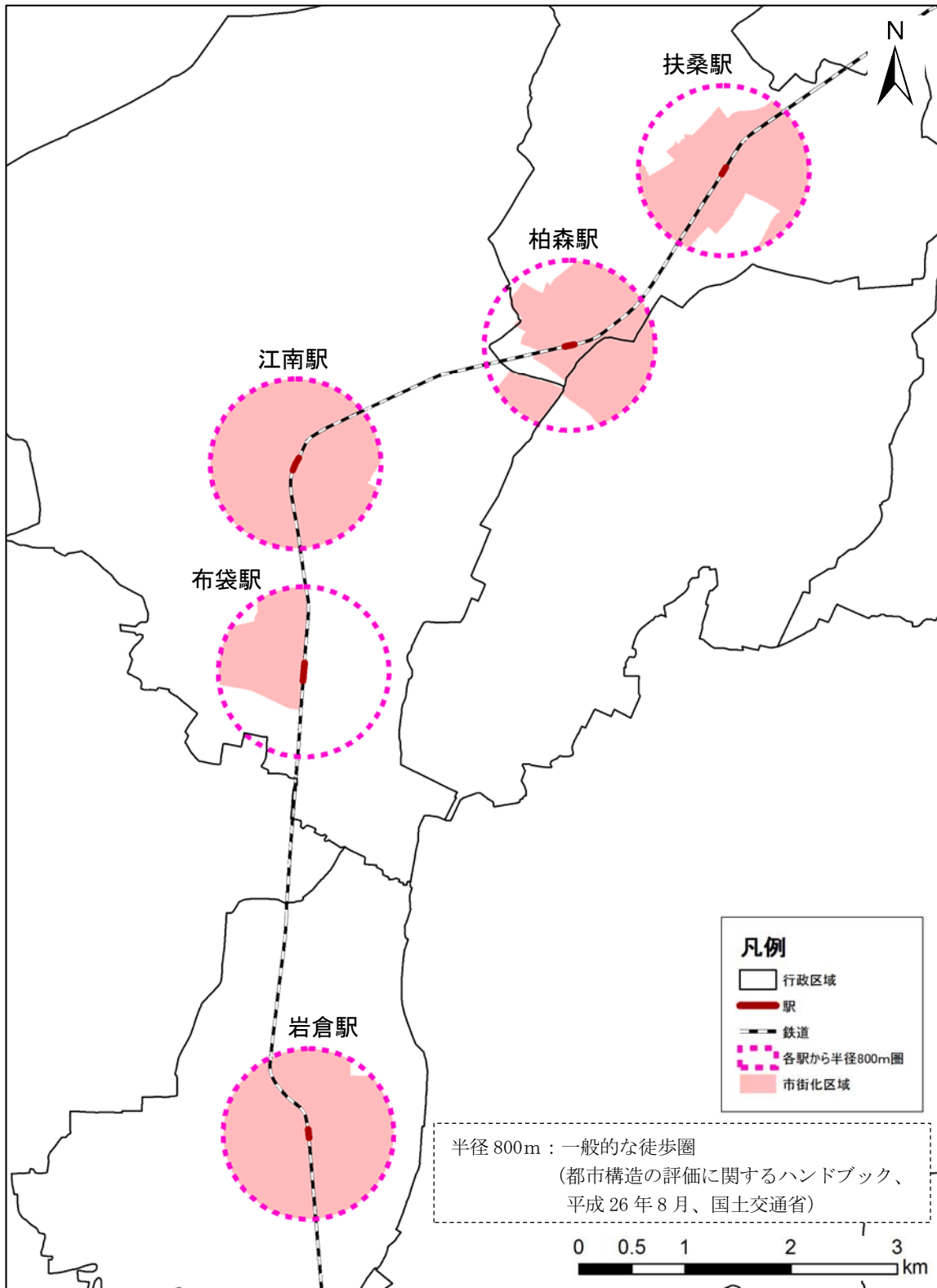
単位：ha

種別	布袋駅	岩倉駅	江南駅	柏森駅	扶桑駅
田	—	1.1 (0.5%)	1.1 (0.5%)	1.1 (0.5%)	3.2 (1.6%)
その他の農用地	28.4 (14.2%)	—	—	16.8 (8.4%)	11.6 (5.7%)
建物用地	156.6 (78.4%)	190.3 (94.8%)	189.1 (93.7%)	171.2 (85.3%)	176.4 (87.5%)
道路	—	1.1 (0.5%)	2.1 (1.0%)	—	—
鉄道	6.3 (3.2%)	2.1 (1.0%)	4.2 (2.1%)	5.3 (2.6%)	5.3 (2.6%)
その他の用地	8.4 (4.2%)	5.3 (2.6%)	5.3 (2.6%)	4.2 (2.1%)	5.3 (2.6%)
河川地及び湖沼	—	1.1 (0.5%)	—	2.10 (1.0%)	—
合計	199.6	200.8	201.7	200.6	201.6

※各駅から半径800mの円に含まれるメッシュから面積を集計

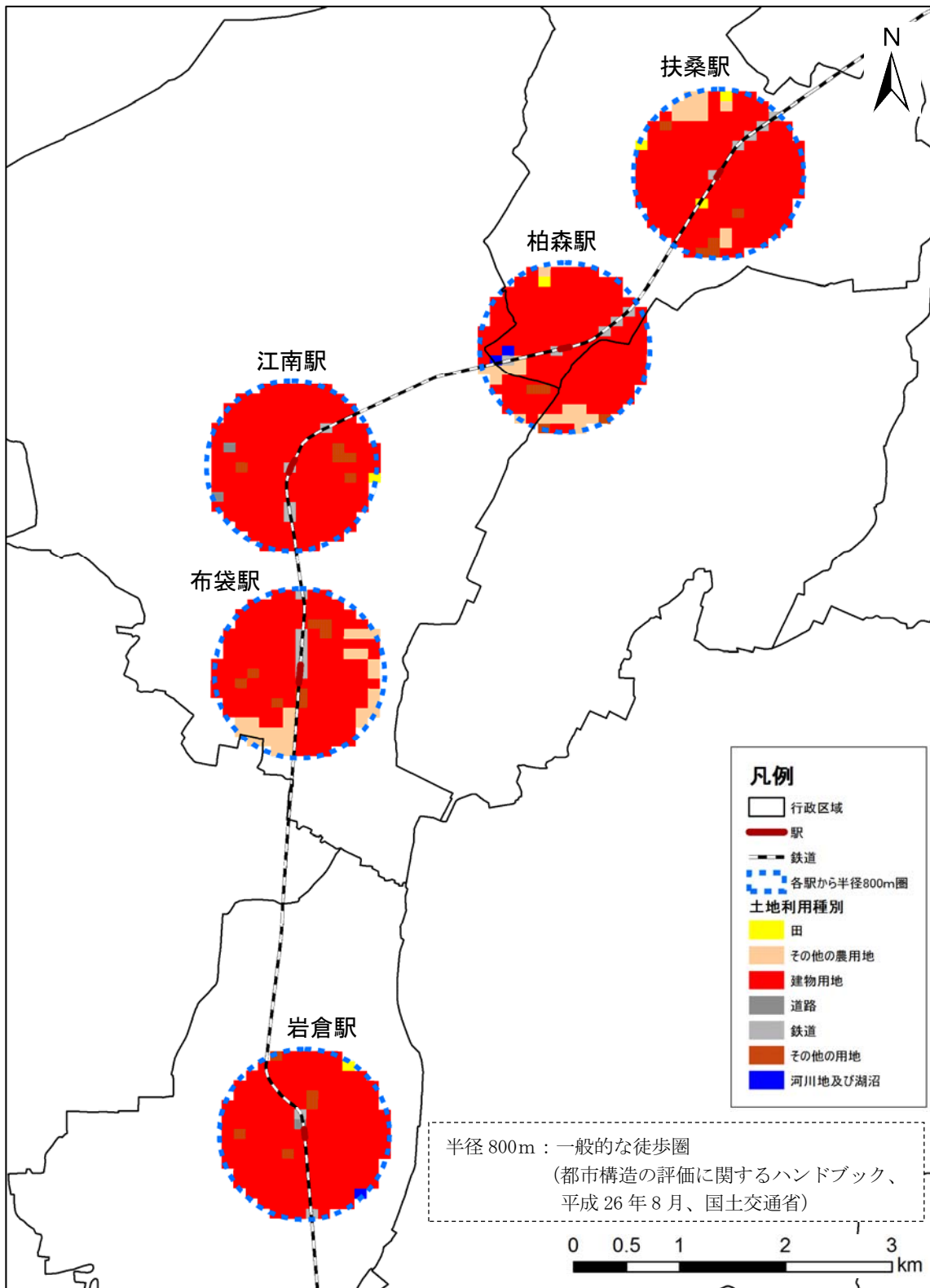
※ () は合計面積に対する割合

資料：国土交通省国土政策局 HP 国土数値情報（平成26年度）



資料：都市計画基礎調査（平成 28 年度）

図 近隣駅周辺の市街化区域の状況



資料：国土交通省国土政策局 HP 国土数値情報（平成 26 年度）

図 近隣駅周辺の土地利用の状況

(2) 建物用途現況

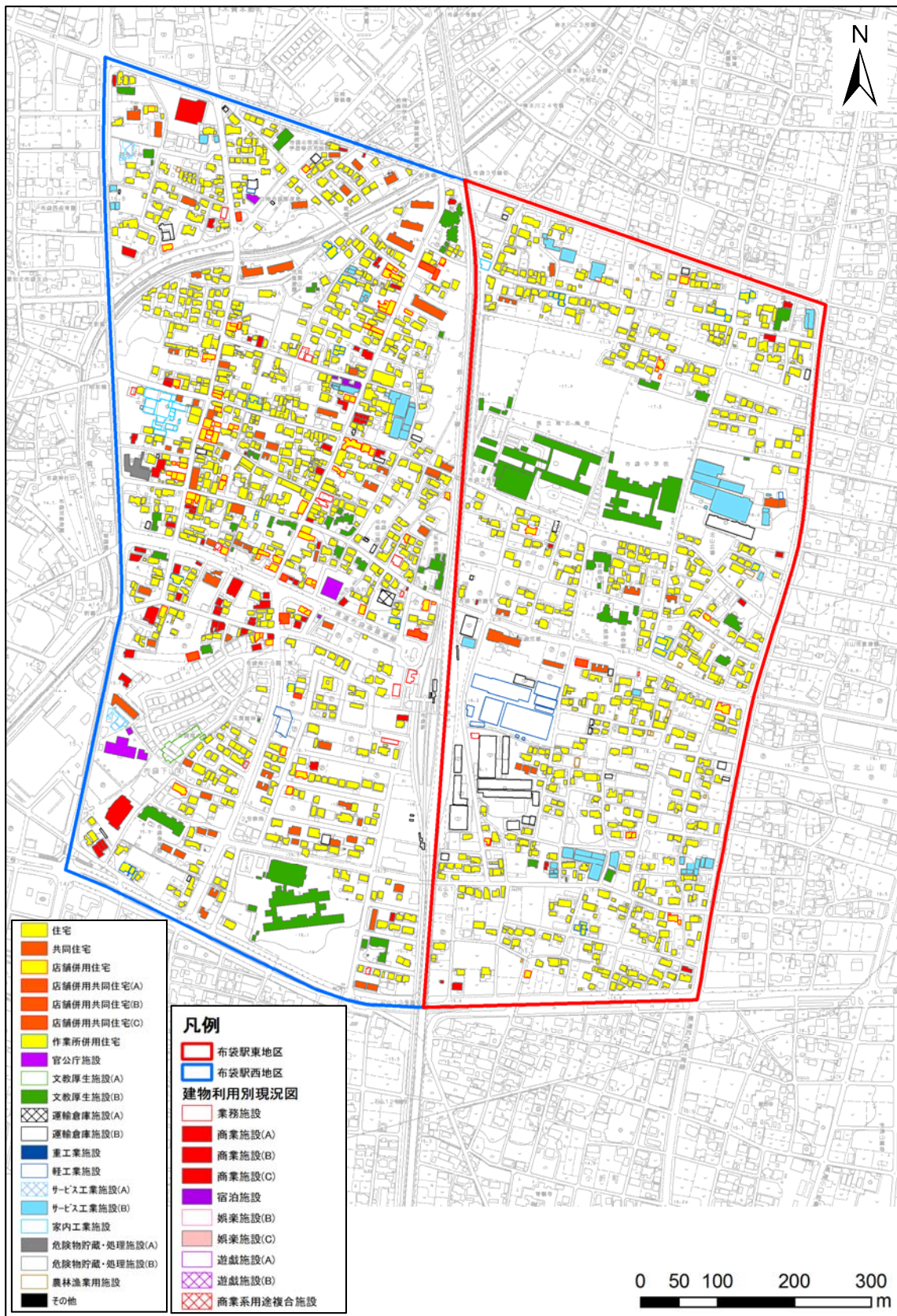
布袋駅東地区の建物用途をみると、商業系施設が約 2%、住宅系施設が約 91%、工業系施設が約 6%と大半が住宅系施設となっています。

また、布袋駅東地区は布袋駅西地区に比べて、建物総数が少なく、特に商業系施設や住宅系施設が少なくなっています。

表 建物用途現況

種別		布袋駅西地区		布袋駅東地区	
		棟数	割合(%)	棟数	割合(%)
商業系施設	業務施設	14	1.1%	3	0.4%
	商業施設	80	6.0%	11	1.3%
	宿泊施設	3	0.2%	0	0.0%
	娯楽施設	0	0.0%	0	0.0%
	遊戯施設	0	0.0%	0	0.0%
	商業系用途複合施設	1	0.1%	0	0.0%
	小計	98	7.4%	14	1.7%
住宅系施設	住宅	911	68.5%	640	78.4%
	共同住宅	76	5.7%	13	1.6%
	店舗併用住宅	80	6.0%	16	2.0%
	店舗併用共同住宅	8	0.6%	1	0.1%
	作業所併用住宅	19	1.4%	18	2.2%
	官公庁施設	6	0.5%	0	0.0%
	文教厚生施設	53	4.0%	30	3.7%
	運輸倉庫施設	26	2.0%	27	3.3%
	小計	1,179	88.7%	745	91.3%
工業系施設	重工業施設	0	0.0%	0	0.0%
	軽工業施設	2	0.2%	11	1.3%
	サービス工業施設	30	2.3%	34	4.2%
	家内工業施設	16	1.2%	1	0.1%
	危険物貯蔵・処理施設	3	0.2%	0	0.0%
	小計	51	3.8%	46	5.6%
その他	農林漁業用施設	1	0.1%	11	1.3%
	その他	0	0.0%	0	0.0%
	小計	1	0.1%	11	1.3%
合計		1,329	—	816	—

資料：都市計画基礎調査（平成24年度）



資料：都市計画基礎調査（平成24年度）

図 建物用途の分布

【参考資料：布袋駅東地区の状況】

①住宅地

- 新たな宅地開発が進んでいる箇所があります。
- 老朽化した空き家が点在しています。



②商業地

- スーパーやコンビニなどの日用品が購入できるような店舗は少なく、幹線道路沿道に飲食店などの小規模店舗が数軒あるのみとなっています。



③工業地

- 比較的規模の大きな工場が地区内に2箇所立地し、また、これら以外にも工場が点在しています。



④神社・仏閣

- 地区内には神社が1箇所、寺院が2箇所立地しています。



(3) 建物の建築年次の状況

建築年次の状況を見ると、地区内の約5割の建物が建築基準法改正前（昭和56年以前）の旧耐震基準の建物となっています。

表 建物の建築年次の状況

建築年次	棟数	割合
昭和56年以前	397	48.7%
昭和56年以後	303	37.1%
建築年次不明	116	14.2%
総数	816	100.0%

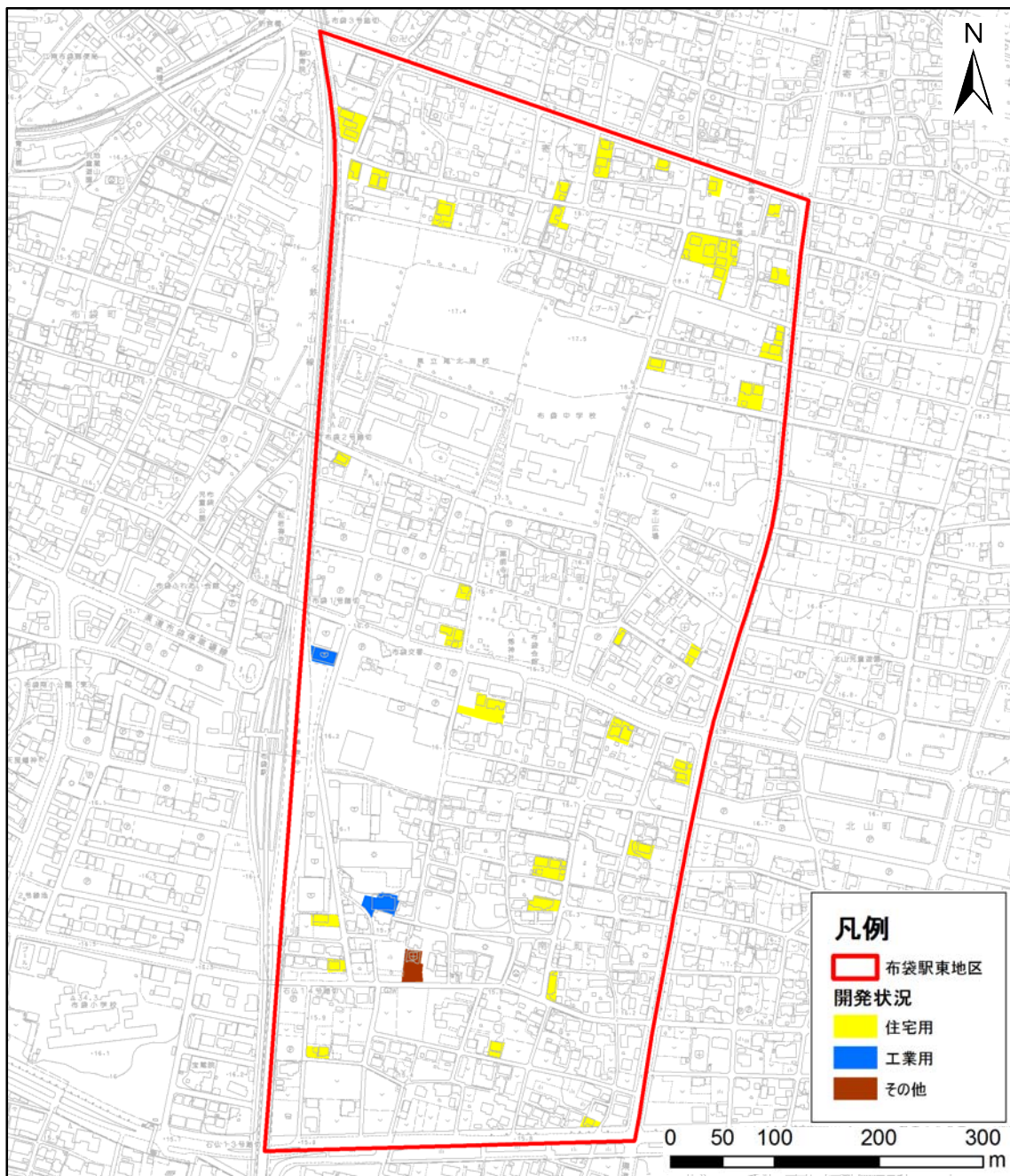
資料：都市計画基礎調査（平成24年度）

(4) 開発許可の状況

平成19年度から平成25年度の7年間の開発許可件数は48件あり、大半が住宅用となっています。また、地区の北部では住宅用の開発許可が多くなっています。

表 開発許可件数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
住宅用	8	4	3	7	10	8	5	45
工業用	-	-	1	1	-	-	-	2
その他	-	-	1	-	-	-	-	1
合計	8	4	5	8	10	8	5	48



資料：都市計画基礎調査（平成26年度）

図 開発許可の状況（平成19～25年度）

3-5 都市基盤施設の状況

(1) 道路

布袋駅東地区は、地区の外周を都市計画道路に囲まれており、中央部は（都）布袋駅線が整備中となっています。また、地区内には幅員 4m未満の狭あい道路が約 31%あり、車両の通行が困難となる道路が点在しています。

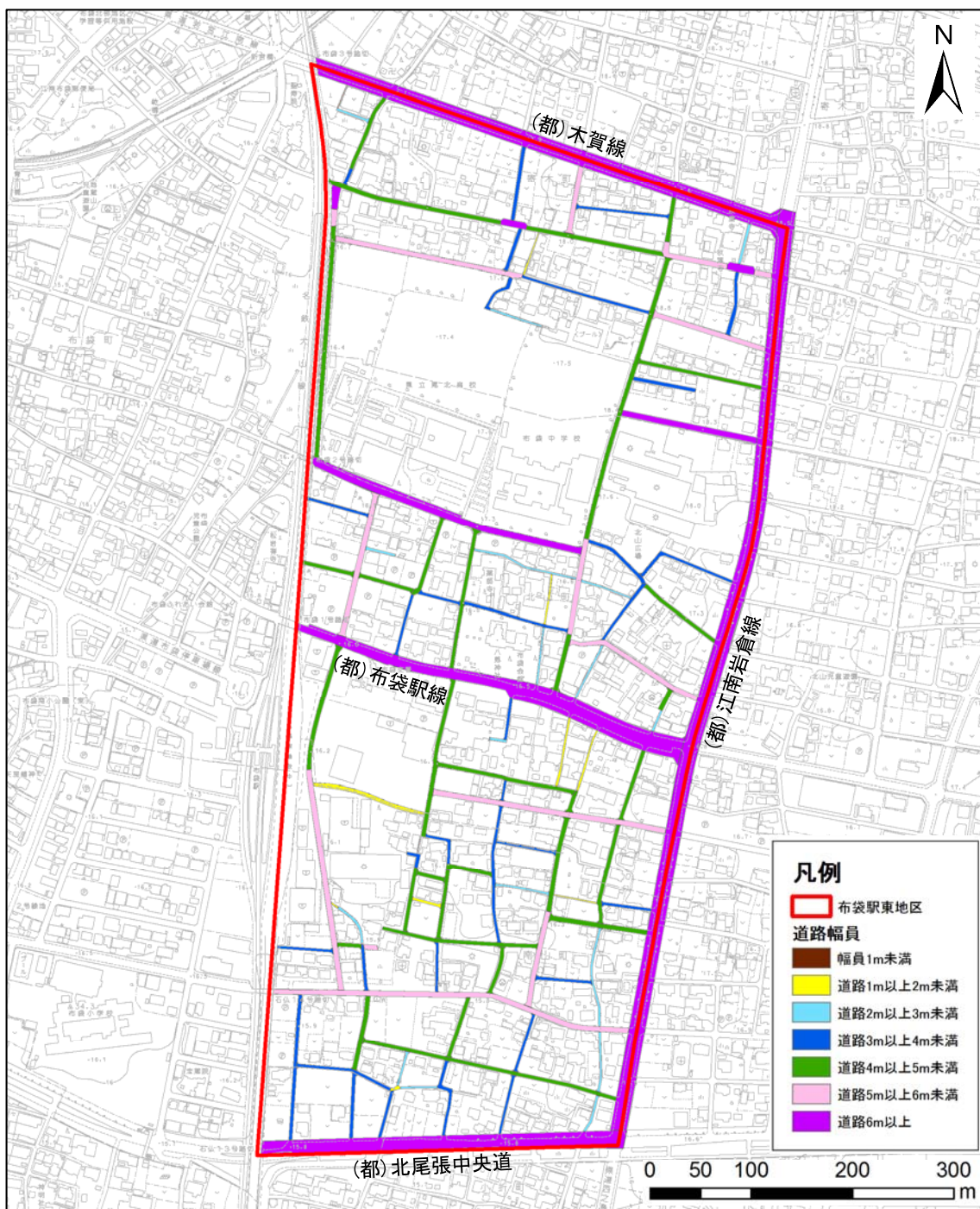
表 道路延長

道路幅員	延長 (m)	割合
幅員 1m未満	41	0.4%
幅員 1m～2m	430	3.8%
幅員 2m～3m	841	7.5%
幅員 3m～4m	2,185	19.6%
幅員 4m～5m	3,218	28.8%
幅員 5m～6m	1,786	16.0%
幅員 6m以上	2,668	23.9%
総延長	11,169	100.0%

資料：江南市道路台帳（平成 28 年）

【参考資料：布袋駅東地区の道路の状況】





資料：江南市道路台帳（平成28年）

図 道路の状況

(2) 公園・広場等

布袋駅東地区には公園はなく、北部に北山広場が立地するのみとなっています。また、地区周辺には布袋児童公園や北山児童遊園が立地しているほか、江南布袋南部土地区画整理事業では（仮称）1号公園（街区公園）が計画されています。公園・広場の誘致距離によるカバー率は約45%となっており、地区の半分はカバー圏外となっています。

表 布袋駅東地区周辺の公園・児童遊園等一覧

種別	名称	面積
街区公園	布袋児童公園	1,330 m ²
街区公園	（仮称）1号公園	約3,000 m ²
児童遊園	北山児童遊園	429 m ²
広場	北山広場	1,378 m ²

資料：江南市資料（平成29年3月時点）

【参考資料：地区内および地区周辺の公園・広場】

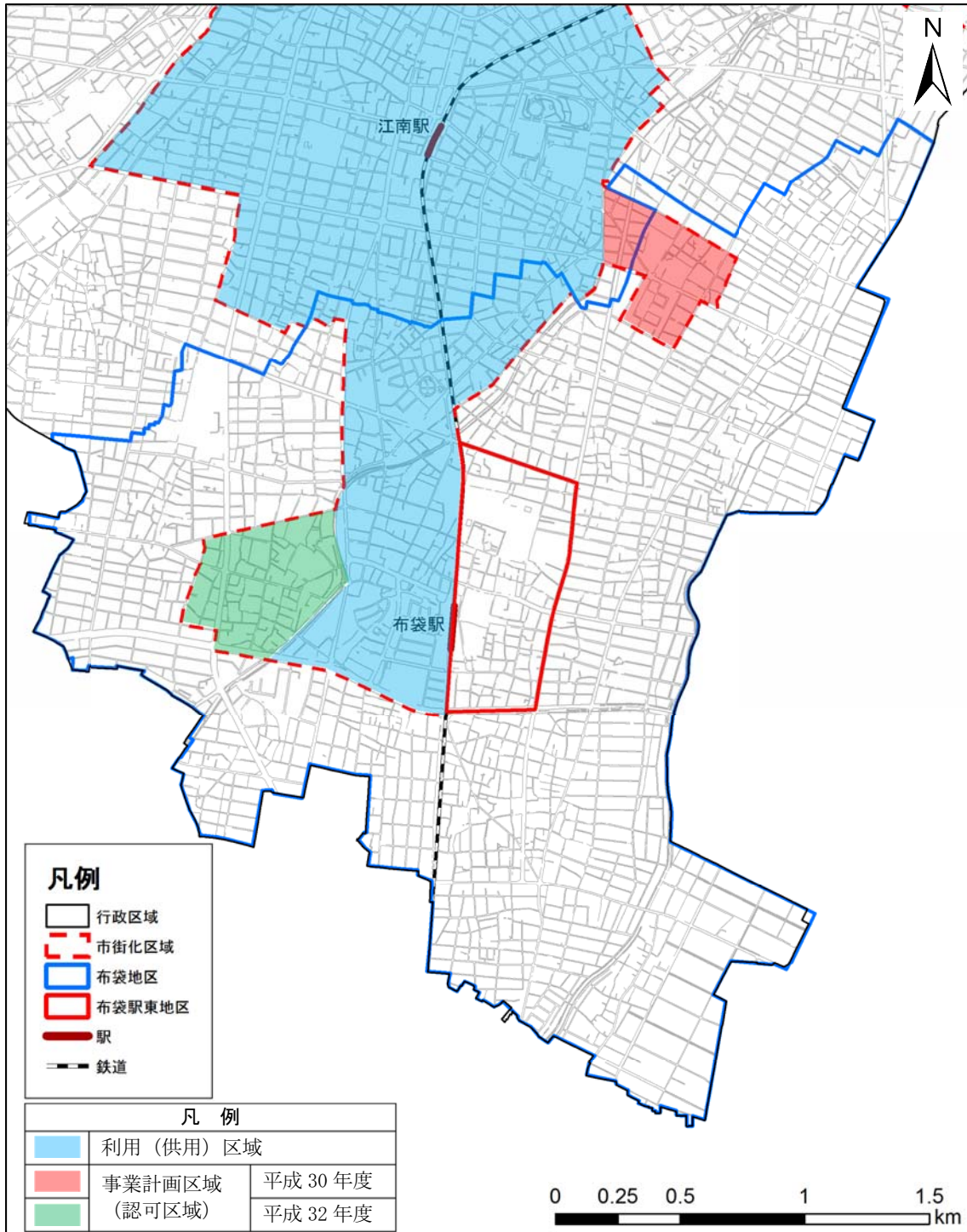




図 公園の設置の状況

(3) 下水道

布袋地区の市街化区域は概ね全域が下水道の利用（供用）区域となっており、未整備区域も事業計画区域（認可区域）となっています。布袋駅東地区は利用（供用）区域および事業計画区域（認可区域）に属していません。

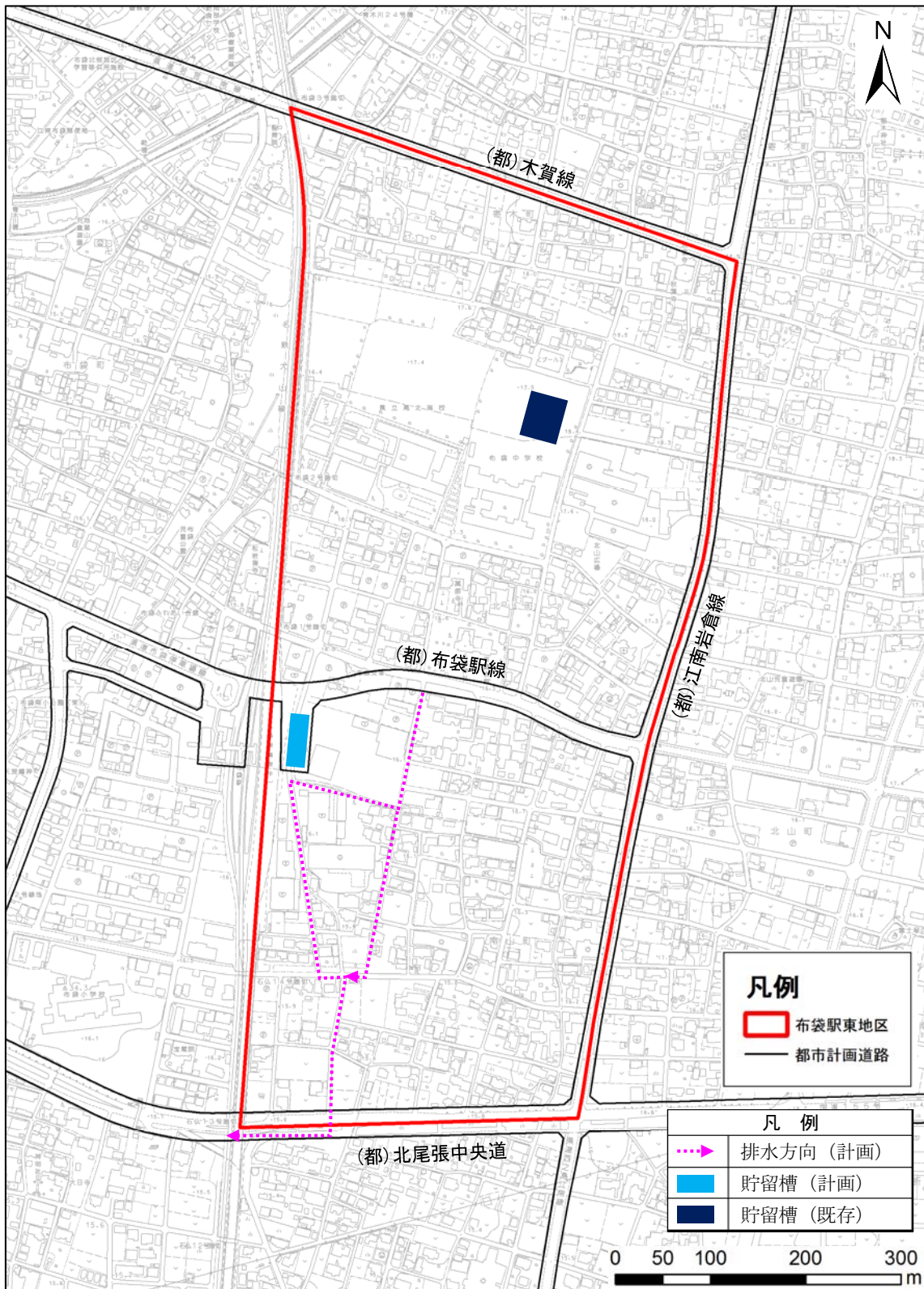


資料：江南市資料

図 江南市下水道事業利用（供用）区域および整備予定区域

(4) 雨水排水施設

布袋駅東地区の雨水排水施設は、(都)布袋駅線周辺から(都)北尾張中央道の方向に整備を行う計画となっています。



資料：江南市資料

図 雨水排水施設の状況

(5) 消防水利

布袋駅東地区には 20 箇所の消防水利が満遍なく配置されていますが、震災時の消防車両の通行を考慮した幅員 6m以上の道路沿道の消防水利は 7 箇所に限られます。

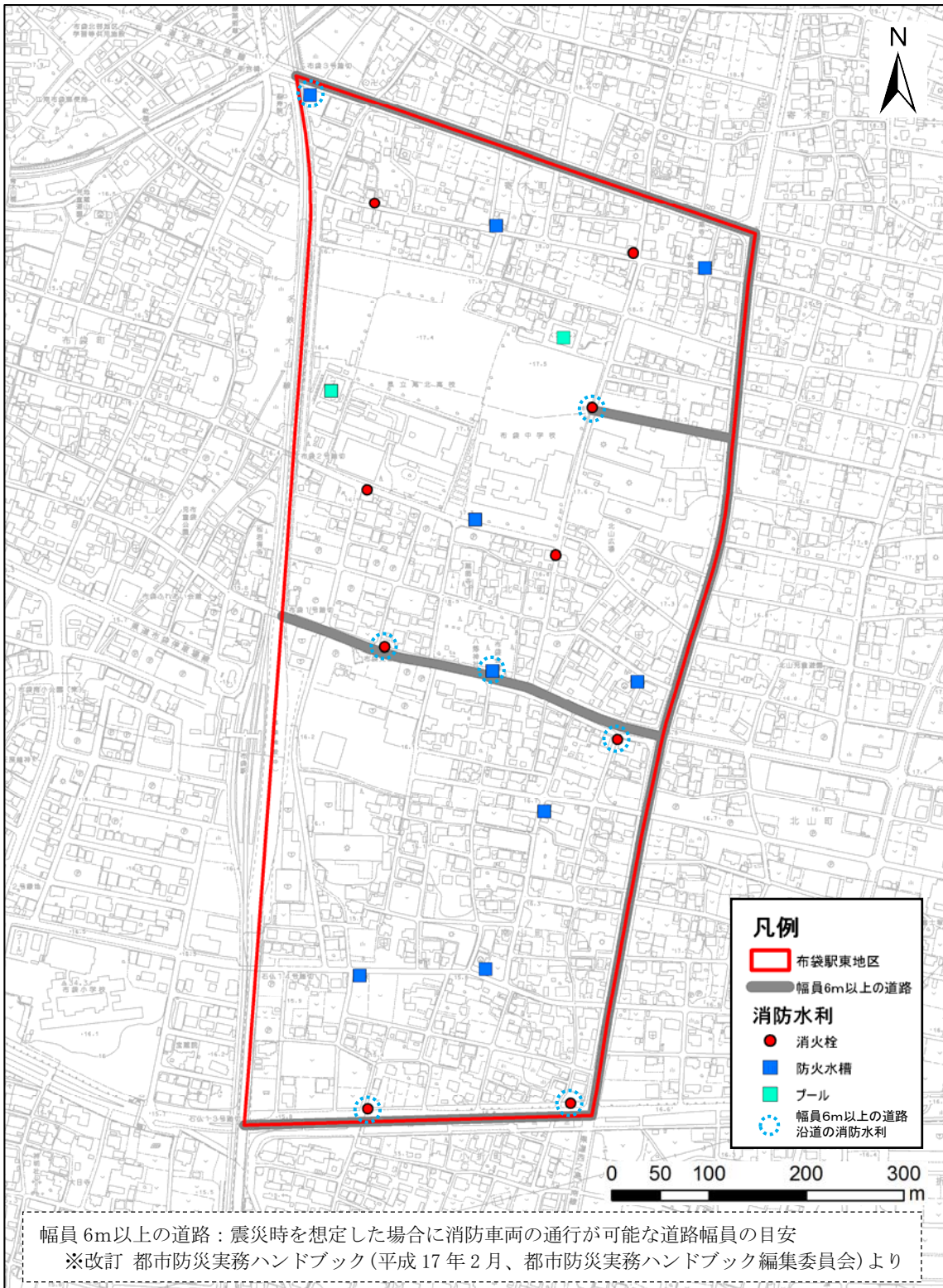
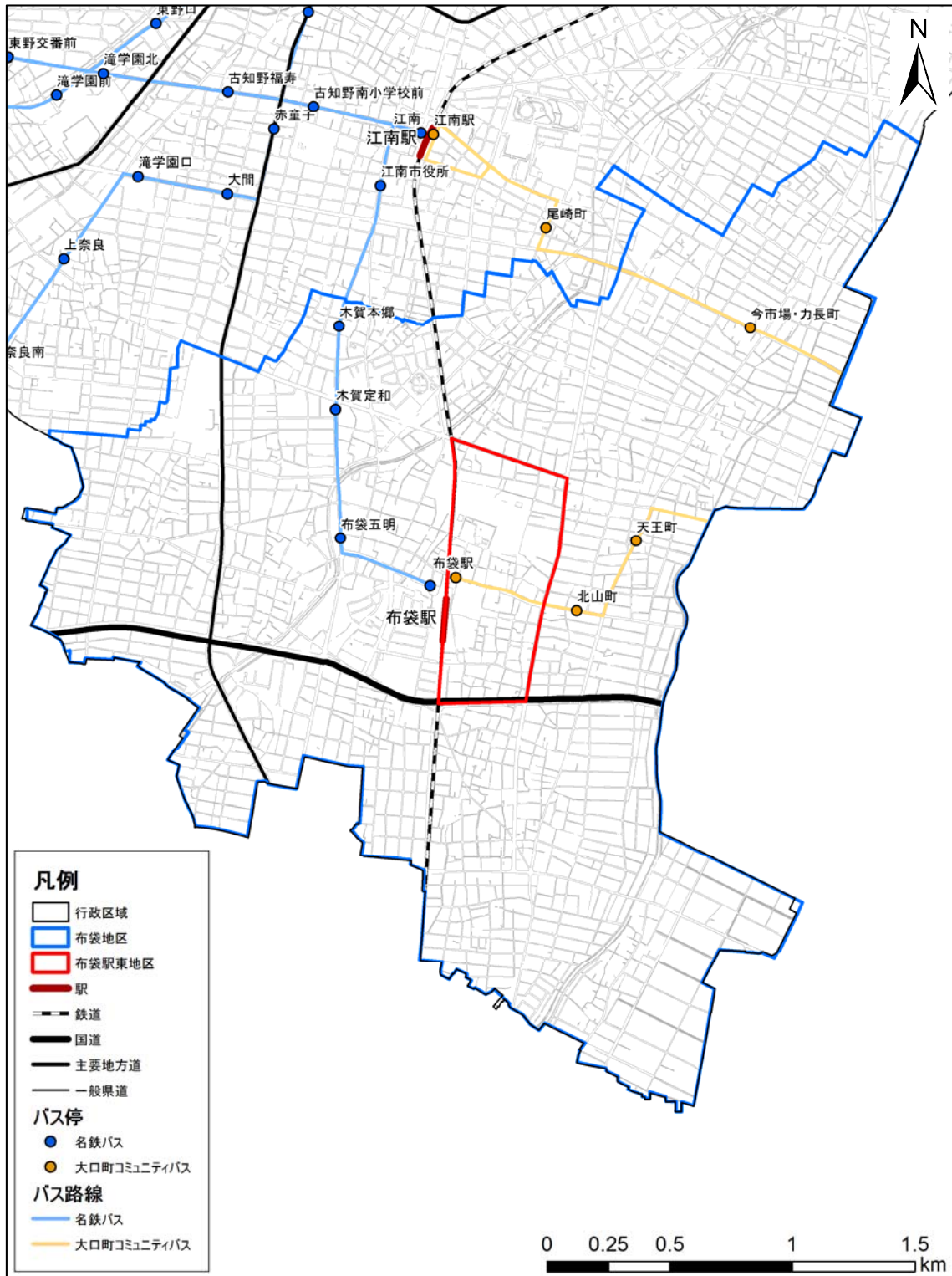


図 消防水利の状況

(6) 公共交通

布袋駅東地区の地区界沿いには名鉄犬山線が通っています。また、名鉄犬山線の西側には名鉄バスの路線があるほか、東側には大口町のコミュニティバス路線があり、布袋駅と北山町が最寄りのバス停となっています。



資料：国土交通省国土政策局 HP 国土数値情報（平成 22 年度、平成 23 年度）、江南市資料

図 鉄道・バス路線網

1) 鉄道

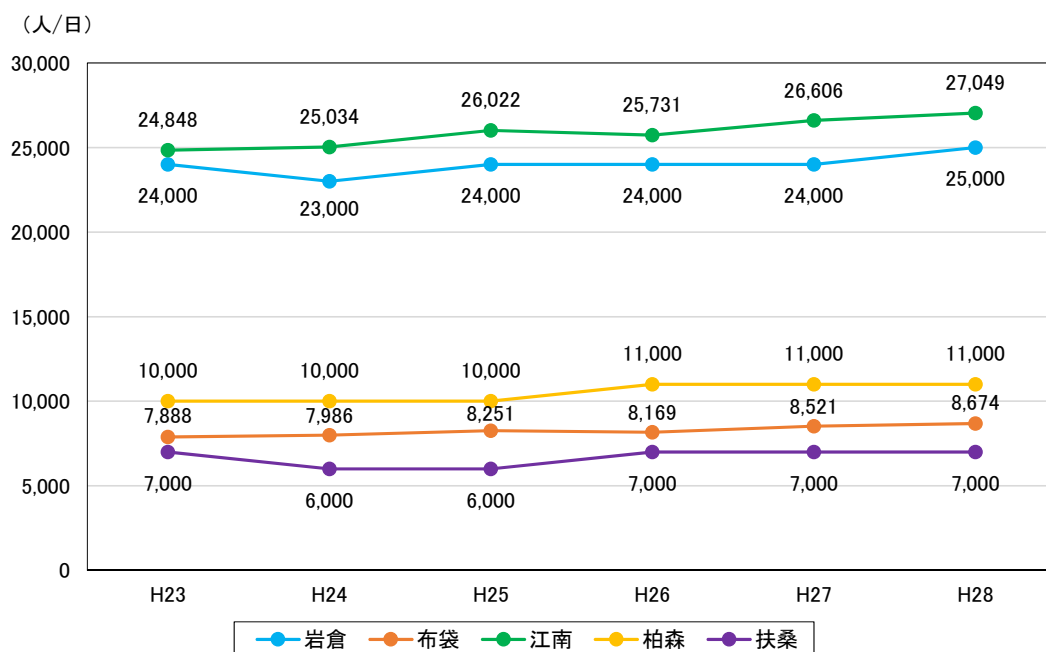
布袋駅の1日平均乗降客数は、最近6年間では増加傾向にあり、平成28年度は約8,700人となっています。その他の駅についても増加または横ばいの傾向となっています。

表 鉄道駅における1日平均乗降客数

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
岩倉駅	24,000	23,000	24,000	24,000	24,000	25,000
布袋駅	7,888	7,986	8,251	8,169	8,521	8,674
江南駅	24,848	25,034	26,022	25,731	26,606	27,049
柏森駅	10,000	10,000	10,000	11,000	11,000	11,000
扶桑駅	7,000	6,000	6,000	7,000	7,000	7,000

※布袋駅近隣の急行停車駅を対象としている

※江南駅、布袋駅を除いては千人単位で切り上げた乗降客数



資料：名古屋鉄道㈱

図 1 日平均乗降客数の推移

2) バス

① 運行本数

大口町コミュニティバスの1日あたりの運行本数をみると、布袋駅バス停では発着を合わせて毎日運行便が8本/日、平日朝・夕運行便が16本/日、北山町バス停では毎日運行便が8本/日となっています。

表 1日あたりの運行本数（布袋駅バス停：大口町コミュニティバス）

	毎日運行便	平日 朝・夕運行便
布袋駅発	4	7
布袋駅着	4	9
合計	8	16

※平成29年4月1日時点の時刻表より集計

※平日 朝・夕運行便は布袋駅を除き、江南市内には停車しない

資料：大口町HP

表 1日あたりの運行本数（北山町バス停：大口町コミュニティバス）

	毎日運行便	平日 朝・夕運行便
外坪松山方面	4	-
布袋駅方面	4	-
合計	8	-

※平成29年4月1日時点の時刻表より集計

資料：大口町HP

② 乗降客数

大口町コミュニティバスのバス停（江南市内）における1日あたりの乗降客数をみると、布袋駅バス停では平成25年度以降微増しています。北山町バス停では乗降客数はわずかとなっています。

表 乗降客数（布袋駅バス停：大口町コミュニティバス）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅発	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478
布袋駅着	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169
合計 (1日あたり)	1,652 (4.5)	4,733 (13.0)	4,983 (13.7)	4,774 (13.0)	4,227 (11.6)	4,300 (11.8)	4,647 (12.7)

※1日あたりの乗降客数は合計を365日で除した数値（うるう年の平成24年は366日で計算）

資料：江南市地域公共交通基礎調査基礎調査結果報告書（平成29年3月）

表 乗降客数（北山町バス停：大口町コミュニティバス）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外坪松山方面	13	32	112	42	23	66	41
布袋駅方面	13	22	114	87	59	48	32
合計 (1日あたり)	26 (0.1)	54 (0.2)	226 (0.6)	129 (0.4)	82 (0.2)	114 (0.3)	73 (0.2)

※1日あたりの乗降客数は合計を365日で除した数値（うるう年の平成24年は366日で計算）

資料：江南市地域公共交通基礎調査基礎調査結果報告書（平成29年3月）

3-6 都市機能の立地状況

(1) 公共公益施設

布袋駅東地区には、教育施設として県立尾北高等学校と布袋中学校が立地しています。名鉄犬山線の西側には布袋小学校が立地しており、児童数は増加傾向にあります。

また、布袋地区には、行政施設が1箇所（布袋支所）、保育施設・子育て施設が6箇所、文化・スポーツ施設が2箇所立地していますが、布袋駅東地区にはこれらの施設は立地していません。

なお、保育施設・子育て施設について、布袋駅東地区近隣の布袋保育園では園児数は横ばいとなっていますが、布袋地区の保育園の入園希望者数は増加傾向にあります。

表 小中学校の児童・生徒数 各年4月1日現在

施設名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
布袋小学校	804	801	799	823	843
布袋中学校	588	589	611	624	598

資料：江南市資料

表 保育園の園児数 各年4月1日現在

施設名	定員 (平成28年)	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
		布袋北保育園	135	135	137	134
布袋西保育園	130	100	110	125	126	120
布袋保育園	110	101	103	100	95	101
布袋東保育園	115	73	80	74	95	96

資料：江南市資料

【参考資料：布袋駅東地区内の公共公益施設】



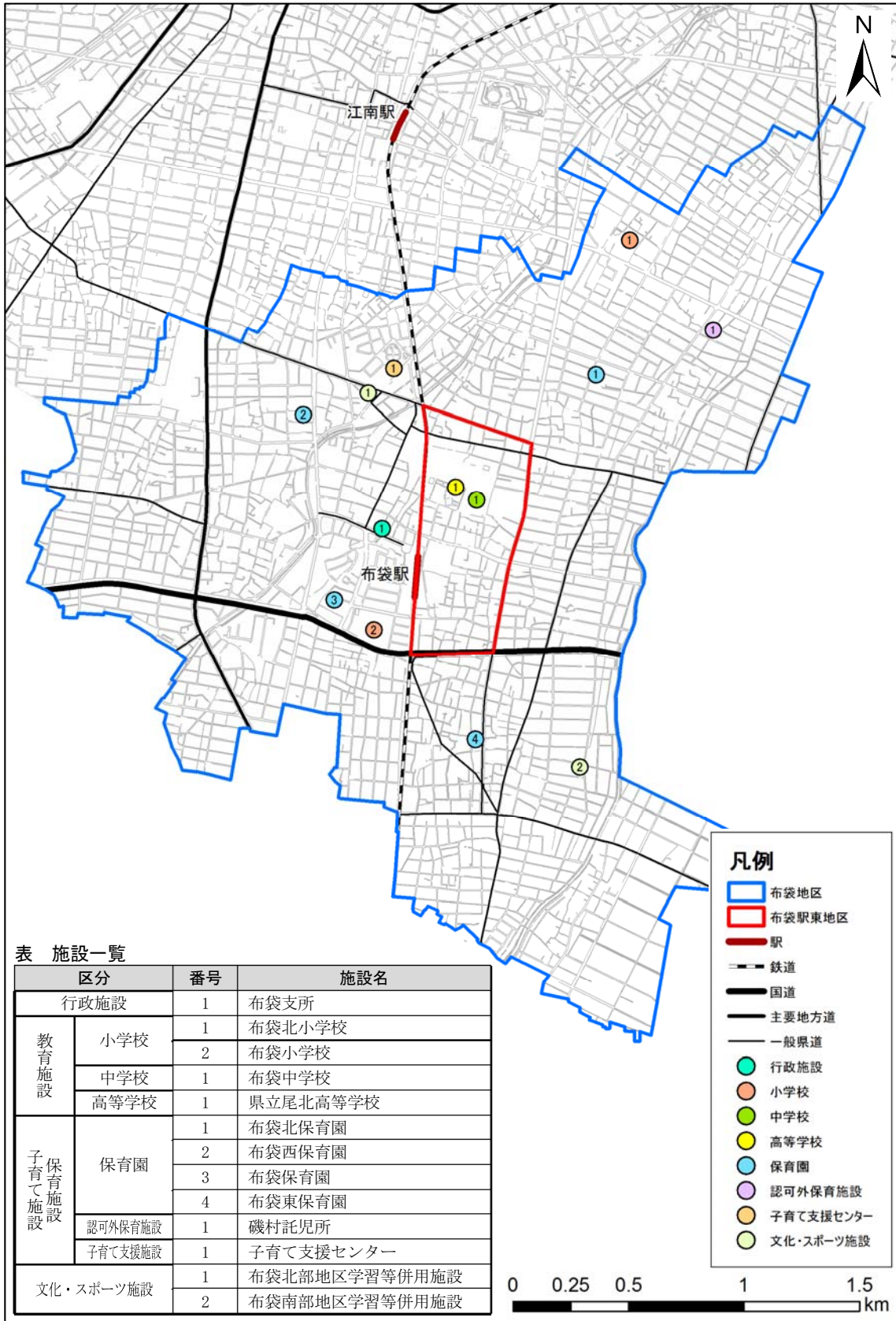


表 施設一覧

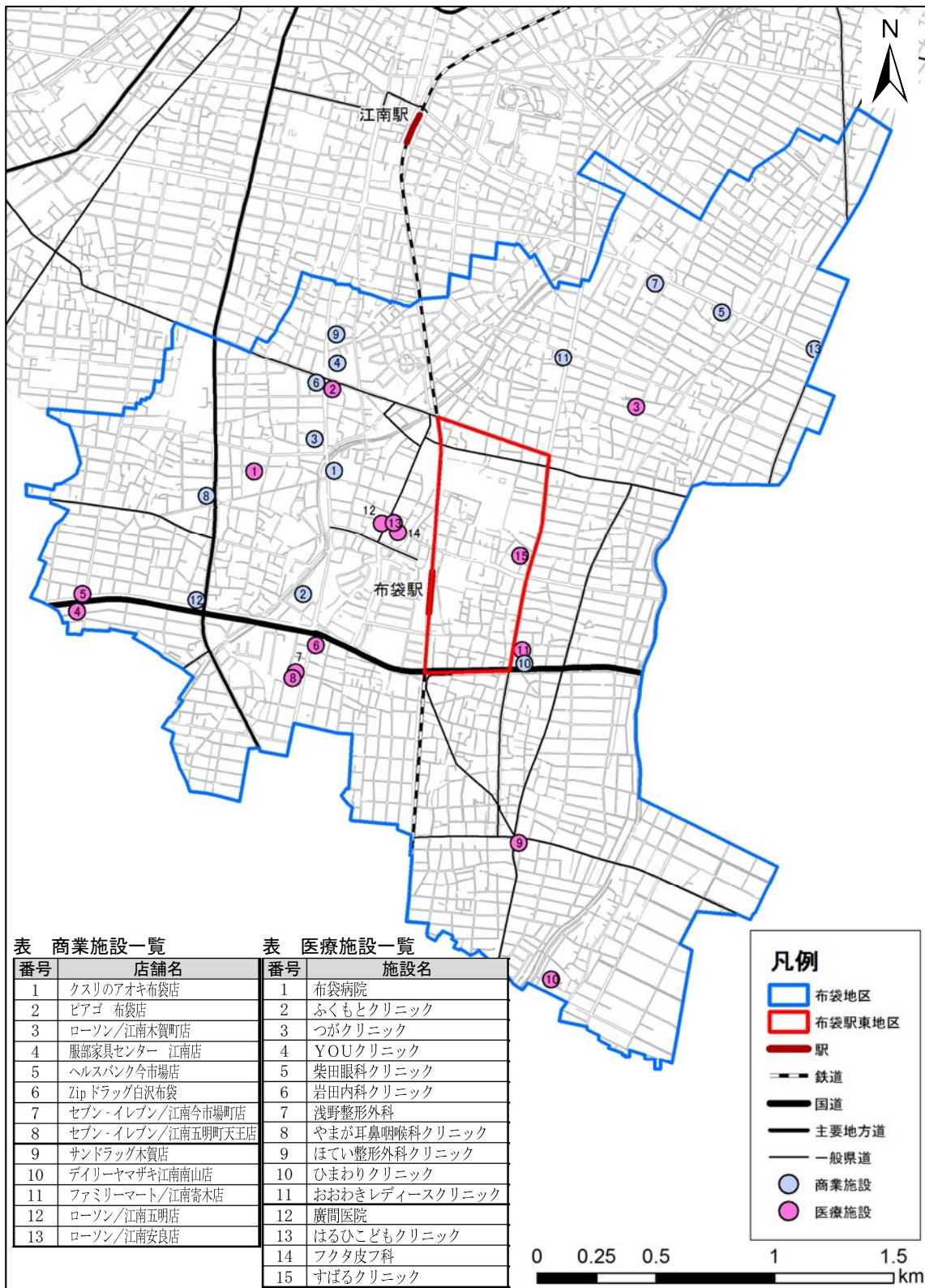
区分		番号	施設名
行政施設		1	布袋支所
教育施設	小学校	1	布袋北小学校
		2	布袋小学校
	中学校	1	布袋中学校
高等学校	1	県立尾北高等学校	
子育て施設	保育園	1	布袋北保育園
		2	布袋西保育園
		3	布袋保育園
		4	布袋東保育園
	認可外保育施設	1	磯村託児所
子育て支援施設	1	子育て支援センター	
文化・スポーツ施設		1	布袋北部地区学習等併用施設
		2	布袋南部地区学習等併用施設

資料：国土交通省国土政策局 HP 国土数値情報（平成 18、25 年度）、江南市資料

図 公共公益施設の立地状況

(2) 商業・医療施設

商業施設は布袋地区に 13 箇所ありますが、布袋駅東地区には立地していません。また、医療施設は布袋地区に 15 箇所あり、布袋駅東地区には 1 箇所立地しています。

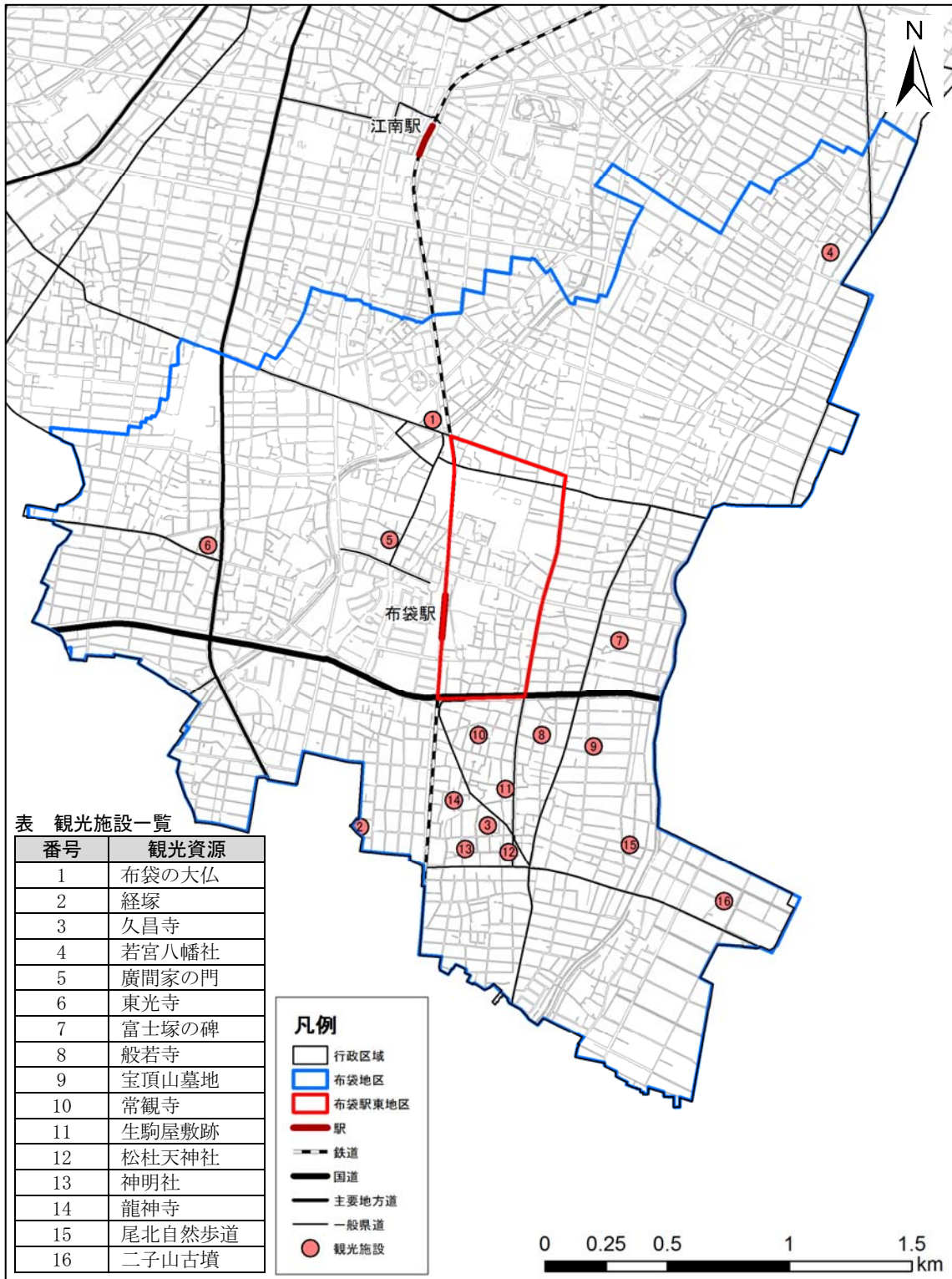


資料：全国大型小売店総覧 2017、スーパーマーケット総覧 2015、(一社)尾北医師会 HP

図 商業・医療施設の立地状況

(3) 観光資源

布袋地区には江南観光ガイドブックに示される観光資源が 16 箇所立地していますが、布袋駅東地区には立地していません。布袋駅東地区の北側には「布袋の大仏」、南側には織田信長の室であった「生駒の方」ゆかりの久昌寺・生駒屋敷跡などが立地しています。



資料：江南観光ガイドブック（平成 27 年）

図 観光施設の分布

3-7 災害危険性

(1) 豪雨災害

布袋駅東地区では、平成12年9月の東海豪雨をはじめとした直近5回の集中豪雨において、一部の区域で床下浸水の被害が発生しています。



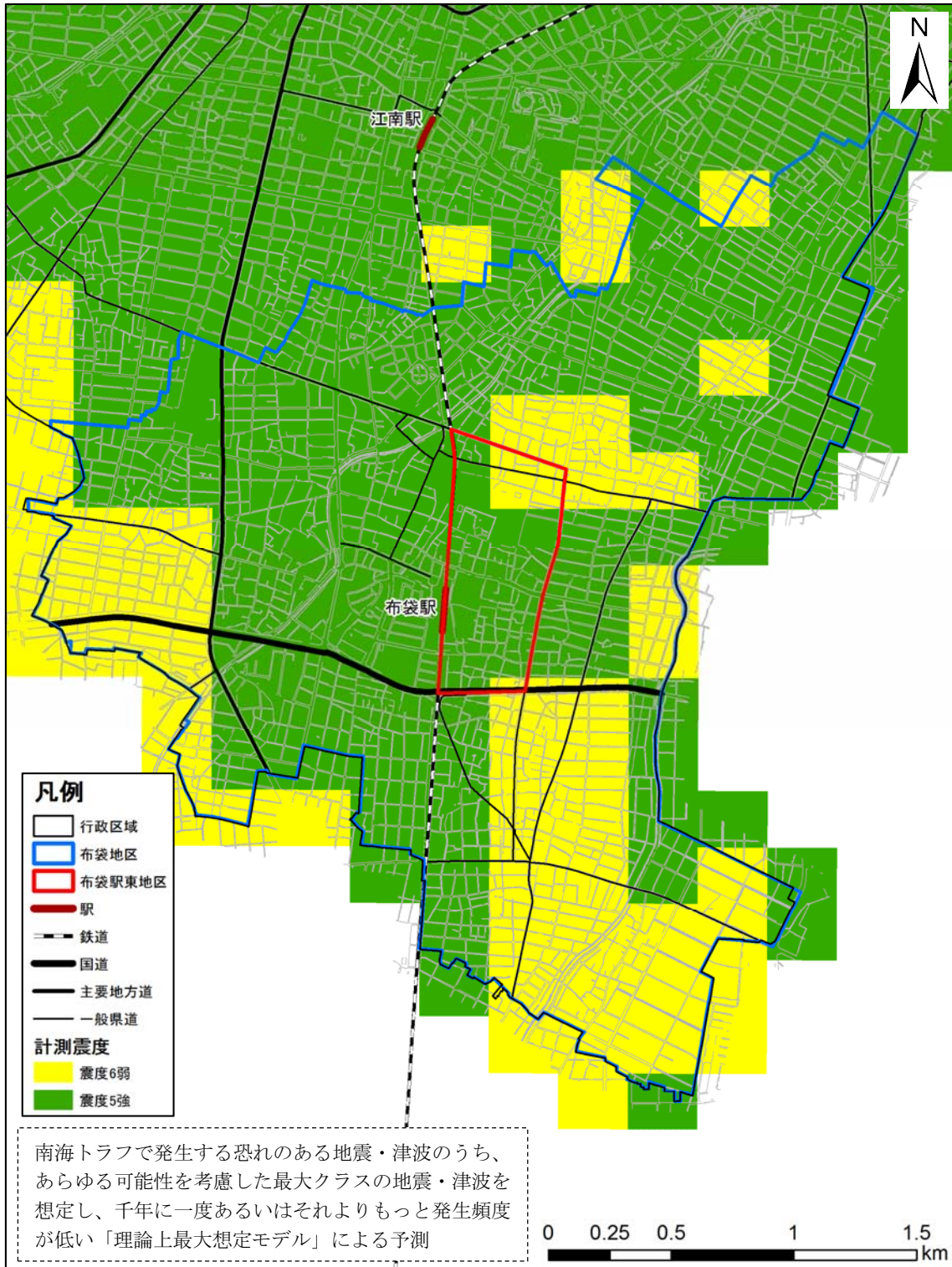
資料：江南市 洪水ハザードマップ（平成25年3月）

図 浸水による災害履歴

(2) 地震災害

1) 想定震度

布袋地区および布袋駅東地区の想定震度は「震度5強」もしくは「震度6弱」となっています。

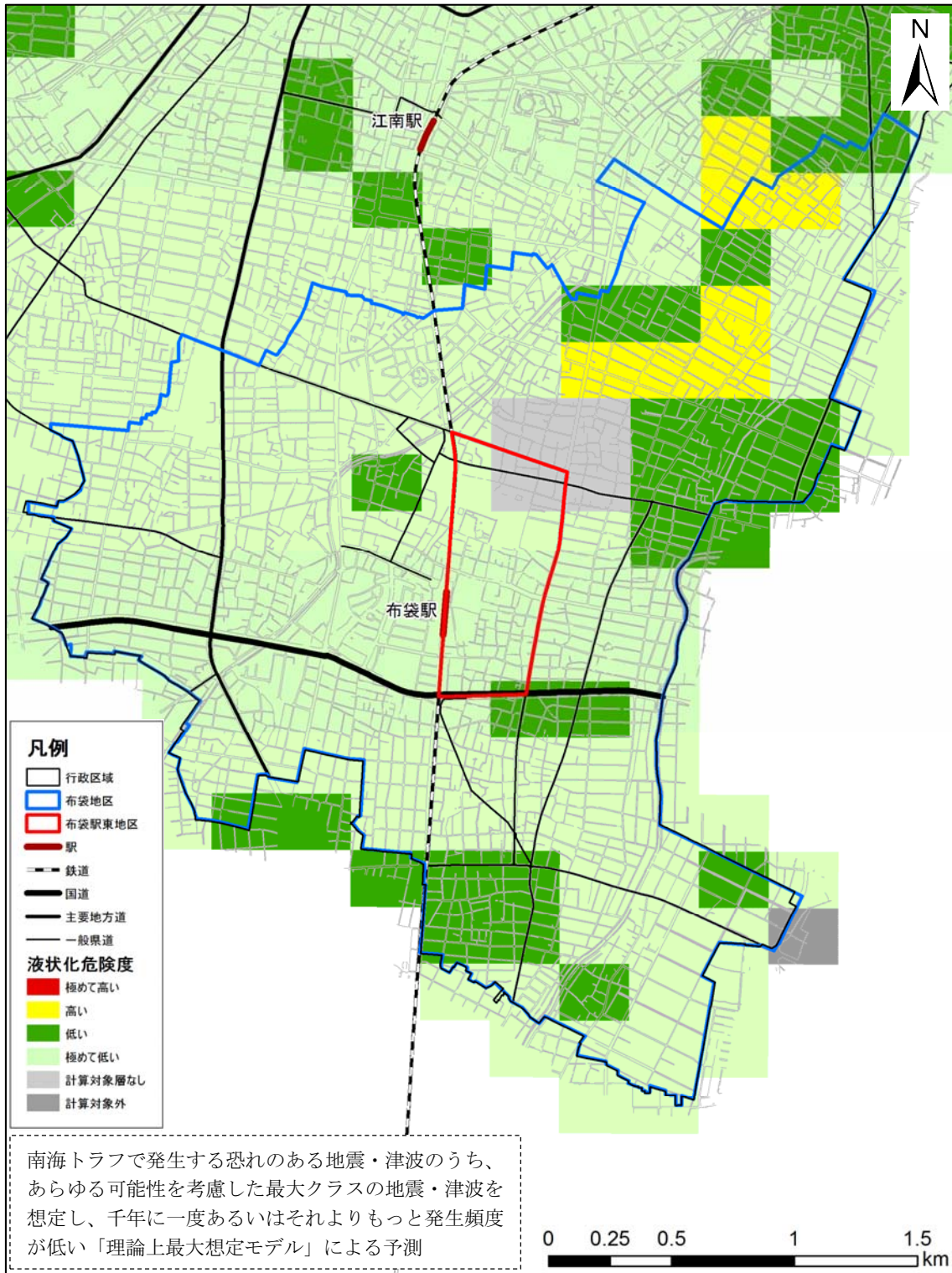


資料：愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書（平成23年～25年）

図 最大想定モデルの地震（陸側ケース）による地表震度分布

2) 液状化危険度

布袋地区の液状化危険度は、北東部の一部で「高い」とされている区域があるものの、全体的には「低い」または「極めて低い」となっています。また、布袋駅東地区は概ね全域が「極めて低い」となっています。



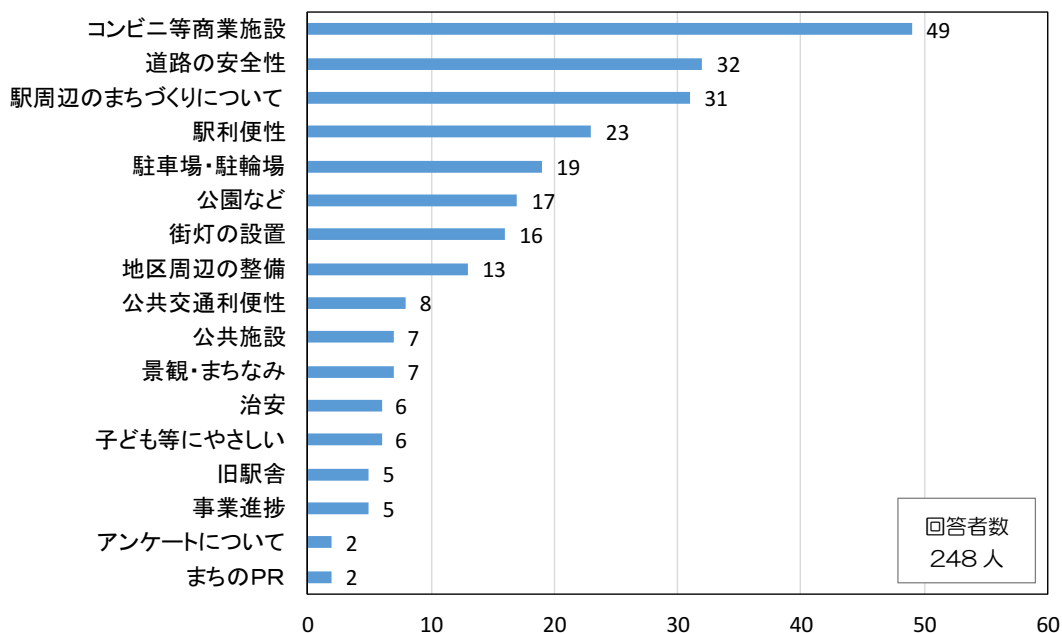
資料：愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書（平成23年～25年）

図 最大想定モデルの地震（陸側ケース）の液状化危険度

3-8 住民の意向

平成 27 年 11 月に実施した「布袋地区のまちづくり事業に関するアンケート」の結果から、自由意見の内容を抜粋し、集計します。

集計の結果、日常の買い物を行うための商業施設が不足しているとの意見が最も多くなっているほか、道路の改善整備や駅周辺でのまちづくりを求める意見、駅の利便性向上、駐車場・駐輪場の整備や公園の整備を求める意見が多くなっています。



※「自由回答」の記入内容のキーワードを抽出・集計

※小郷町、木賀町、北山町、小折町、小折東町、小折本町、五明町、田代町、布袋町、布袋下山町、南山町、寄木町のうち、布袋小学校区内の居住者を対象に実施

資料：布袋地区のまちづくり事業に関するアンケート（平成 27 年 11 月実施）

図 自由意見のキーワード別集計